

平成 20 年 7 月 30 日

野菜需給協議会幹事会の概要

独立行政法人農畜産業振興機構

平成 20 年 7 月 30 日に独立法人農畜産業振興機構（東京都港区）において野菜需給協議会幹事会が開催されました。その概要は下記のとおりです。

記

・最近の野菜の価格の動向について、東北・北海道などの主力産地の生産・出荷が順調である一方、気温の上昇等により消費が停滞していること等から、特にだいこん、はくさい、レタスの卸売価格が下がっていることが事務局より報告された。

・生産出荷団体より、このような価格では上記品目の一部について出荷するほど赤字になるものも出てきており、近々市場隔離に踏み切らざるを得ない状況となっていることが報告された。

・このような状況に対応して、野菜需給協議会会員は、それぞれの特色を活かし、野菜の需給動向や優れた機能のPRなど消費拡大活動を推進していくこととされた。（別紙参照）

（参考）当日の配布資料はホームページで公表します。

（問い合わせ先）

担当者：（独）農畜産業振興機構
野菜需給部 需給推進課
山内、細川、小林
電話番号：03-3583-9478

(別紙)

野菜の消費拡大活動の推進について

平成 20 年 7 月 30 日

野菜需給協議会

- 1 最近の野菜の卸売価格は、東北・北海道などの主力産地の生産・出荷が順調である一方、気温の上昇等により消費が停滞していること等から、特にだいこん、はくさい、レタスの価格が下がっています。
- 2 産地側としては、計画生産や出荷の調整等の努力を行っていますが、品目によっては出荷すればするほど赤字になっています。
- 3 野菜を食べて暑さに負けない体作りに資するため、野菜需給協議会の構成会員は、それぞれの特色を活かし、野菜の需給動向や優れた機能のPRなど消費拡大活動を推進することとします。

※ 野菜には水分が多く、熱中症対策や脱水症状の予防にもなります。さらにビタミンやミネラル、食物繊維、機能性成分が豊富で野菜をたっぷりと食べることで体調を整えやすくなります。